

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 20 週（5 月 13 日～5 月 19 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	4 人 類型 患者 3 人、 無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 1 人、O103 2 人、 O8 1 人
腸チフス	1 人 推定感染地域 国外
四類感染症 ライム病	1 人 推定感染地域 国外
レジオネラ症	2 人 病型 肺炎型 1 人、 ポンティアック熱型 1 人
五類感染症 カバ ^ハ ペ ^ペ 耐性腸内細菌目細菌感染症	1 人 菌種 <i>Klebsiella</i> sp.
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 人 血清群 A 群 3 人
侵襲性肺炎球菌感染症	2 人
梅毒	8 人 病型 早期顕症Ⅰ期 2 人、 早期顕症Ⅱ期 1 人、 無症状病原体保有者 5 人
百日咳	1 人 年齢階級 80 歳代

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

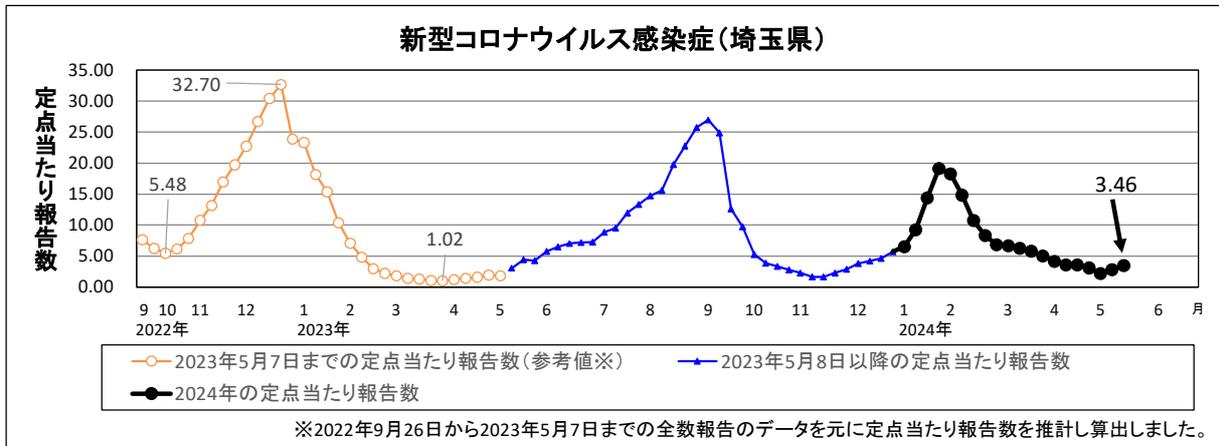
新型コロナウイルス感染症(2.82→3.46: 図 1)の定点当たり報告数は、前週より増加し、長期休暇前の第 17 週の値を上回った。保健所別では、幸手(5.07)保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は 34 人(前週 22 人)であった。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(4.01→5.52: 図 2-1, 2)の定点当たり報告数は、前週より増加し、2023 年の秋以降、高い水準で増減を繰り返している。保健所別では、春日部(17.17)保健所管内からの報告が非常に多く、幸手(11.22)、南部(10.80)保健所管内からの報告も多い。RS ウイルス感染症(1.20→1.32: 図 3)の定点当たり報告数は、前週と同水準であり、依然として多い状況にある。保健所別では、南部(4.40)、狭山(2.50)、幸手(2.33)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1 歳以下の報告が全体の約 68%であった。咽頭結膜熱(0.52→0.70: 図 4)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、春日部(1.33)保健所管内からの報告が多い。手足口病(0.32→0.52: 図 5)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、熊谷(2.75)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 5 人、流行性角結膜炎 45 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎 3 人、インフルエンザ(入院) 1 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第20週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

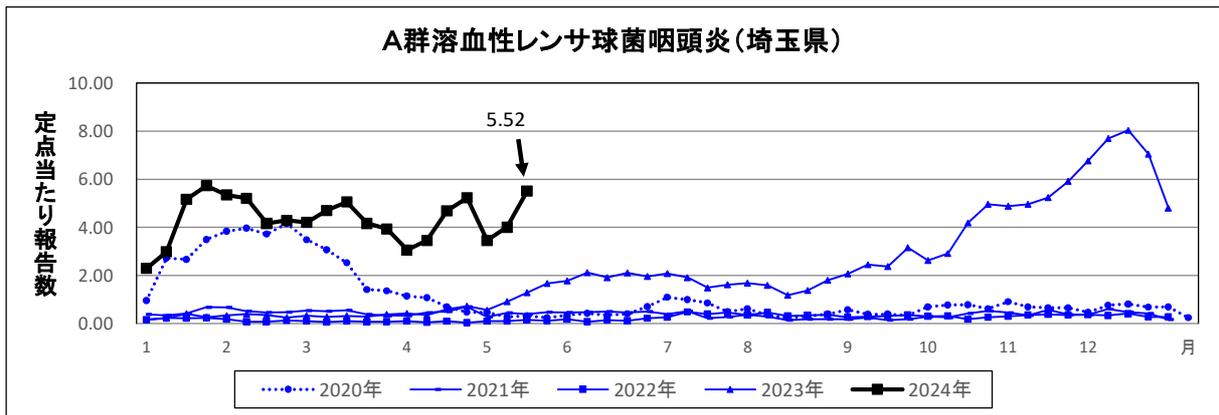
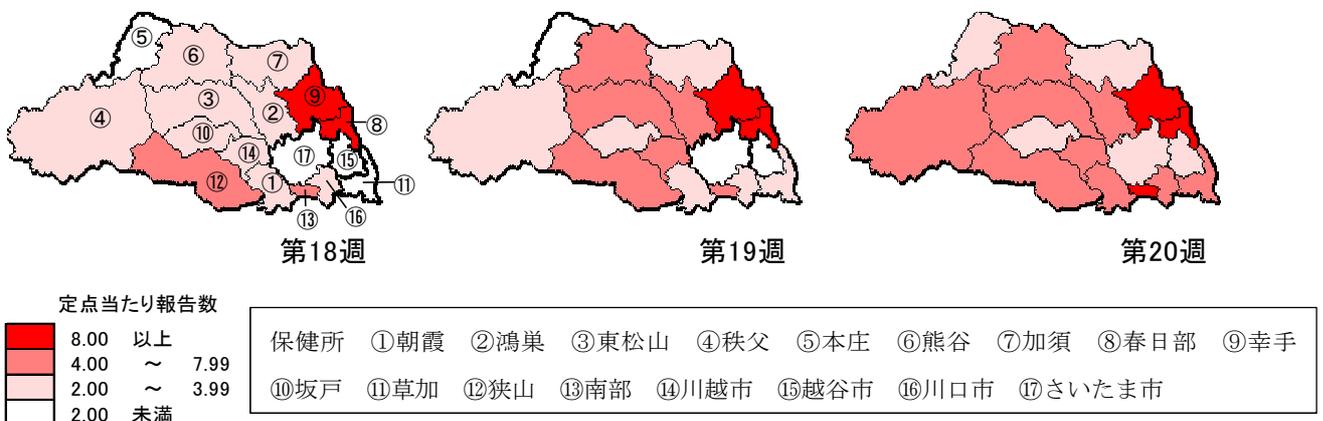


図2-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別流行状況の推移（2024年第18週～第20週）



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第20週)

(2024年5月21日 15:45集計)

	今週届出	累計		今週届出	累計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス	1	2
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	4	44			
四類感染症					
E型肝炎		15	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニバウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病	1	1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	33
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		3	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		11	侵襲性肺炎球菌感染症	2	40
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘(入院例に限る)		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	28	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	8	158
急性脳炎		10	播種性クリプトコックス症		5
クリプトスポリジウム症			破傷風		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	59	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		11	百日咳	1	16
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		7	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2024年4月分)

2024年4月の届出総数は、患者37人、無症状病原体保有者15人の計52人であった。前月と比べると患者数は同水準であり、無症状病原体保有者数は減少した。過去1年と比べると、患者数、無症状病原体保有者数ともに同水準であった。推定感染地域は国内33人、国外6人、不明13人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2023年4月～2024年4月)

	2023年*										2024年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	累計**	
総計	63	62	67	57	59	62	50	59	76	68	72	55	52	247	
年齢階級															
10歳未満	4	2	4	1	1	0	0	0	5	2	1	1	2	6	
10歳代	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	2	0	1	3	
20歳代	7	3	7	14	5	6	3	2	8	2	6	8	7	23	
30歳代	10	5	1	1	3	2	3	6	7	9	6	1	2	18	
40歳代	3	2	5	2	1	3	2	4	3	4	8	6	5	23	
50歳代	4	7	6	5	5	10	5	10	5	6	9	5	6	26	
60歳代	9	8	8	9	5	10	10	8	12	6	12	3	3	24	
70歳代	10	11	12	14	19	7	10	8	10	16	10	12	11	49	
80歳代	11	18	17	7	16	17	15	17	17	18	14	15	9	56	
90歳以上	4	6	6	3	4	6	1	3	9	5	4	4	6	19	
性															
男	45	34	38	38	40	40	29	39	44	35	48	30	27	140	
女	18	28	29	19	19	22	21	20	32	33	24	25	25	107	
類型															
患者	35	46	35	47	49	49	34	42	41	46	43	36	37	162	
感染症死亡者の死体	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	
無症状病原体保有者	28	16	31	10	10	13	16	17	35	21	28	19	15	83	
病型															
肺結核	24	29	27	37	35	38	28	26	31	31	30	20	22	103	
肺結核及びその他の結核	3	6	5	3	7	2	2	7	5	5	2	3	5	15	
その他の結核	8	11	4	7	7	9	4	9	5	10	11	13	10	44	
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	
無症状病原体保有者	28	16	31	10	10	13	16	17	35	21	28	19	15	83	
推定感染地域															
国内	44	38	41	27	37	42	31	35	50	47	37	25	33	142	
国外	3	3	3	11	5	4	1	6	3	3	8	4	6	21	
不明	16	21	23	19	17	16	18	18	23	18	27	26	13	84	

*:2023年の届出数は暫定値

**:2024年1月からの累積届出数

4月に診断された52人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計22人の報告があり、70歳代以上が12人で約55%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2024年4月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	22	5	10	0	15	52
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	2	2
10歳代	0	0	0	0	1	1
20歳代	2	3	1	0	1	7
30歳代	1	0	1	0	0	2
40歳代	1	0	0	0	4	5
50歳代	3	0	1	0	2	6
60歳代	3	0	0	0	0	3
70歳代	4	1	3	0	3	11
80歳代	6	0	1	0	2	9
90歳以上	2	1	3	0	0	6

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第20週

5月13日~5月19日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症																		
全 県	報告数 77	902	216	115	906	851	35	85	18	45	19	20	5	45	-	-	3	-	-	1	34	
	定点当たり 0.30	3.46	1.32	0.70	5.52	5.19	0.21	0.52	0.11	0.27	0.12	0.12	0.12	1.07	-	-	0.25	-	-	0.08	2.83	
朝 霞	報告数 4	93	22	6	76	96	1	14	-	5	1	1	-	3	-	-	-	-	-	-	8	
	定点当たり 0.17	4.04	1.47	0.40	5.07	6.40	0.07	0.93	-	0.33	0.07	0.07	-	0.75	-	-	-	-	-	-	8.00	
鴻 巣	報告数 4	85	12	14	74	53	-	6	1	3	-	-	-	4	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり 0.21	4.47	1.00	1.17	6.17	4.42	-	0.50	0.08	0.25	-	-	-	1.33	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数 28	24	2	1	27	53	-	1	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	定点当たり 3.50	3.00	0.40	0.20	5.40	10.60	-	0.20	-	0.20	0.20	0.20	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	
秩 父	報告数 1	11	4	2	13	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	
	定点当たり 0.20	2.20	1.33	0.67	4.33	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	
本 庄	報告数 1	13	2	3	9	-	-	3	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	定点当たり 0.14	1.86	0.50	0.75	2.25	-	-	0.75	-	0.25	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
熊 谷	報告数 7	37	6	3	47	45	1	22	-	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	定点当たり 0.54	2.85	0.75	0.38	5.88	5.63	0.13	2.75	-	0.25	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
加 須	報告数 1	22	4	1	17	5	1	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3	
	定点当たり 0.10	2.20	0.67	0.17	2.83	0.83	0.17	-	-	0.33	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	3.00	
春 日 部	報告数 2	44	11	8	103	61	-	1	-	2	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり 0.20	4.40	1.83	1.33	17.17	10.17	-	0.17	-	0.33	-	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数 5	71	21	10	101	24	3	9	1	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり 0.36	5.07	2.33	1.11	11.22	2.67	0.33	1.00	0.11	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数 -	45	5	5	19	38	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	
	定点当たり -	4.50	0.83	0.83	3.17	6.33	0.17	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.00	
草 加	報告数 6	83	13	2	50	63	3	4	-	5	3	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり 0.32	4.37	1.08	0.17	4.17	5.25	0.25	0.33	-	0.42	0.25	0.08	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数 2	112	40	17	100	49	-	6	2	4	1	1	5	5	-	-	-	-	-	-	2	
	定点当たり 0.08	4.48	2.50	1.06	6.25	3.06	-	0.38	0.13	0.25	0.06	0.06	1.00	1.00	-	-	-	-	-	-	2.00	
南 部	報告数 1	35	22	2	54	45	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	定点当たり 0.13	4.38	4.40	0.40	10.80	9.00	0.20	0.20	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	
川 越 市	報告数 2	42	2	3	51	35	2	-	-	1	1	-	-	2	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり 0.14	3.00	0.25	0.38	6.38	4.38	0.25	-	-	0.13	0.13	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数 3	49	3	9	17	31	2	2	-	1	-	2	-	2	-	-	1	-	-	-	1	
	定点当たり 0.23	3.77	0.38	1.13	2.13	3.88	0.25	0.25	-	0.13	-	0.25	-	1.00	-	-	1.00	-	-	-	1.00	
川 口 市	報告数 5	58	11	11	57	102	11	2	12	3	7	9	-	14	-	-	1	-	-	-	2	
	定点当たり 0.25	2.90	0.85	0.85	4.38	7.85	0.85	0.15	0.92	0.23	0.54	0.69	-	3.50	-	-	1.00	-	-	-	2.00	
さいたま市	報告数 5	78	36	18	91	151	9	14	2	13	2	1	-	10	-	-	1	-	-	-	9	
	定点当たり 0.12	1.81	1.29	0.64	3.25	5.39	0.32	0.50	0.07	0.46	0.07	0.04	-	1.11	-	-	1.00	-	-	-	9.00	

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第20週 5月13日～5月19日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	77	1	-	6	1	7	10	8	2	3	2	5	3	6	4	7	4	4	2	2	-
新型コロナウイルス感染症	902	7	20	16	10	5	7	7	3	5	4	6	54	74	126	87	100	133	96	89	53

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	216	26	46	75	34	21	9	2	1	-	-	1	1	-	-
咽頭結膜熱	115	-	8	27	19	14	13	11	7	8	5	2	1	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	906	1	4	38	64	75	82	106	97	102	85	69	122	17	44
感染性胃腸炎	851	5	54	115	67	68	82	88	62	64	62	37	87	7	53
水痘	35	-	-	2	2	3	2	5	3	6	2	3	6	-	1
手足口病	85	-	12	39	15	6	3	3	2	2	-	1	1	-	1
伝染性紅斑	18	-	-	-	-	2	-	1	1	5	5	2	2	-	-
突発性発しん	45	1	9	25	7	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	19	1	2	4	4	3	2	1	-	1	-	-	1	-	-
流行性耳下腺炎	20	-	-	-	1	2	1	3	3	6	1	-	3	-	-

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	5	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-
流行性角結膜炎	45	2	-	-	2	1	3	2	3	-	4	-	1	-	3	9	8	5	1	1

	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新型コロナウイルス感染症(入院)	34	3	2	-	-	-	2	-	-	1	-	-	1	2	3	2	18

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第17週 (4月22日～4月28日)

令和6年5月22日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は第12週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(3.56)、沖縄県(3.13)、山梨県(2.71)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は50例と前週と比較して減少した。都道府県別では27都道府県から報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～9歳(16例)、10代(6例)、30代(1例)、50代(2例)、60代(4例)、70代(8例)、80歳以上(12例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(8.34)、秋田県(6.42)、岩手県(6.16)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,301例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(40例)、1～9歳(32例)、10代(15例)、20代(17例)、30代(31例)、40代(19例)、50代(65例)、60代(117例)、70代(320例)、80歳以上(645例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は奈良県(5.32)、福井県(4.44)、和歌山県(3.50)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は岩手県(2.63)、富山県(2.54)、鹿児島県(2.25)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(11.54)、鳥取県(8.42)、北海道(8.17)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は富山県(11.93)、大分県(9.11)、石川県(8.38)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(4.86)、福井県(4.24)、愛媛県(3.59)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は岩手県(0.18)、東京都(0.15)、宮崎県(0.11)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第12週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は愛媛県(1.70)、大分県(1.11)、群馬県(0.43)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.13)、埼玉県(0.11)、大分県(0.11)、福岡県(0.10)である。

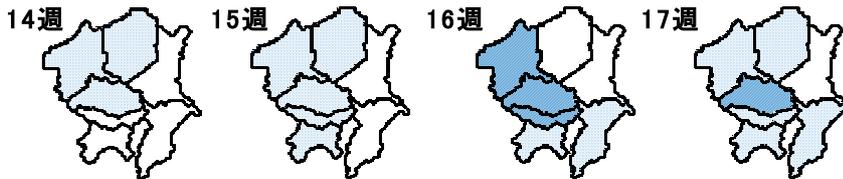
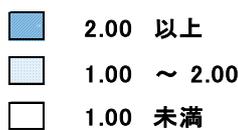
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.71)、大阪府(0.67)、香川県(0.60)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。5都道府県から9例報告があり、年齢別では5～9歳(8例)、10代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年第17週(4月22日～4月28日)、2024年第18週(4月29日～5月5日): 通巻第26巻第17・18合併号 より

<関東情報>

RSウイルスの定点当たり報告数は、埼玉県(2.19)からの報告が多い。

RSウイルス感染症



2024年 17週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	5,234	1,498	270	84	92	205	268	298	281
	定点当たり	1.07	0.99	2.25	1.11	1.10	0.81	1.33	0.72	0.79
新型コロナウイルス感染症	報告数	15,786	4,455	372	274	262	791	725	995	1,036
	定点当たり	3.22	2.96	3.10	3.61	3.12	3.11	3.61	2.39	2.92
RSウイルス感染症	報告数	5,379	1,589	67	67	102	352	194	483	324
	定点当たり	1.73	1.67	0.89	1.40	1.92	2.19	1.55	1.84	1.44
咽頭結膜熱	報告数	2,193	402	40	12	47	84	59	94	66
	定点当たり	0.70	0.42	0.53	0.25	0.89	0.52	0.47	0.36	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	14,518	4,504	492	243	227	847	815	1,072	808
	定点当たり	4.66	4.75	6.56	5.06	4.28	5.26	6.52	4.09	3.59
感染性胃腸炎	報告数	14,328	3,931	235	74	230	781	598	1,284	729
	定点当たり	4.60	4.14	3.13	1.54	4.34	4.85	4.78	4.90	3.24
水痘	報告数	547	185	8	1	5	47	32	49	43
	定点当たり	0.18	0.19	0.11	0.02	0.09	0.29	0.26	0.19	0.19
手足口病	報告数	1,796	239	9	13	104	24	19	26	44
	定点当たり	0.58	0.25	0.12	0.27	1.96	0.15	0.15	0.10	0.20
伝染性紅斑	報告数	92	57	-	2	-	5	1	39	10
	定点当たり	0.03	0.06	-	0.04	-	0.03	0.01	0.15	0.04
突発性発しん	報告数	980	303	11	24	22	70	39	72	65
	定点当たり	0.31	0.32	0.15	0.50	0.42	0.43	0.31	0.27	0.29
ヘルパンギーナ	報告数	283	48	3	1	23	3	4	10	4
	定点当たり	0.09	0.05	0.04	0.02	0.43	0.02	0.03	0.04	0.02
流行性耳下腺炎	報告数	152	59	2	2	4	17	6	14	14
	定点当たり	0.05	0.06	0.03	0.04	0.08	0.11	0.05	0.05	0.06
急性出血性結膜炎	報告数	13	8	-	-	-	2	1	1	4
	定点当たり	0.02	0.04	-	-	-	0.05	0.03	0.03	0.10
流行性角結膜炎	報告数	426	198	19	8	3	32	13	35	88
	定点当たり	0.63	1.03	1.19	0.67	0.21	0.82	0.42	0.90	2.10
細菌性髄膜炎 #2	報告数	7	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	10	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.08	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	77	9	-	-	-	-	1	5	3
	定点当たり	0.16	0.10	-	-	-	-	0.11	0.20	0.25
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	9	2	-	-	-	-	2	-	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	-	0.22	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

全国・関東情報

第18週 (4月29日～5月5日)

令和6年5月22日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は第12週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.26)、山形県(1.53)、秋田県(1.33)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は42例と前週と比較して減少した。都道府県別では25都道府県から報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～9歳(18例)、10代(4例)、30代(1例)、40代(1例)、60代(2例)、70代(4例)、80歳以上(9例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(9.77)、青森県(5.70)、秋田県(4.87)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,076例と前週と比較して減少した。都道府県別では45都道府県から報告があり、年齢別では0歳(24例)、1～9歳(42例)、10代(7例)、20代(14例)、30代(22例)、40代(32例)、50代(53例)、60代(109例)、70代(267例)、80歳以上(506例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山口県(3.30)、奈良県(3.21)、和歌山県(3.17)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は岩手県(2.13)、鹿児島県(1.90)、鳥取県(1.32)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(7.00)、鳥取県(5.32)、北海道(5.05)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(7.04)、大分県(6.22)、石川県(4.69)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(5.47)、愛媛県(3.95)、福井県(3.76)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は東京都(0.09)、神奈川県(0.09)、高知県(0.08)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県(1.19)、大分県(0.97)、群馬県(0.32)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は香川県(0.14)、鳥取県(0.11)、奈良県(0.09)である。

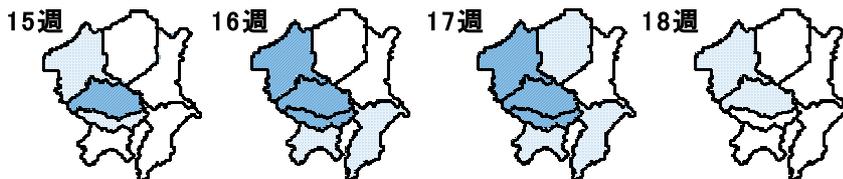
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.43)、福井県(0.83)、青森県(0.67)、佐賀県(0.67)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。6都道府県から6例報告があり、年齢別では1～4歳(3例)、5～9歳(2例)、70歳以上(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年第17週(4月22日～4月28日)、2024年第18週(4月29日～5月5日):通巻第26巻第17・18合併号より

<関東情報>

RSウイルスの定点当たり報告数は、埼玉県(1.41)、群馬県(1.30)であった。

RSウイルス感染症



		2024年 18週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	2,199	585	119	20	38	83	80	141	104
	定点当たり	0.45	0.39	0.99	0.26	0.47	0.33	0.41	0.35	0.30
新型コロナウイルス感染症	報告数	11,086	2,894	301	130	150	549	541	605	618
	定点当たり	2.27	1.95	2.51	1.71	1.85	2.18	2.77	1.48	1.77
RSウイルス感染症	報告数	3,905	1,039	58	44	65	222	128	325	197
	定点当たり	1.26	1.11	0.77	0.92	1.30	1.41	1.05	1.26	0.88
咽頭結膜熱	報告数	1,564	301	32	9	42	64	33	64	57
	定点当たり	0.51	0.32	0.43	0.19	0.84	0.41	0.27	0.25	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	8,328	2,442	305	110	138	546	342	595	406
	定点当たり	2.69	2.61	4.07	2.29	2.76	3.46	2.80	2.31	1.82
感染性胃腸炎	報告数	8,029	2,072	127	37	124	463	271	678	372
	定点当たり	2.59	2.22	1.69	0.77	2.48	2.93	2.22	2.63	1.67
水痘	報告数	330	100	7	-	4	23	11	29	26
	定点当たり	0.11	0.11	0.09	-	0.08	0.15	0.09	0.11	0.12
手足口病	報告数	1,890	264	3	8	112	38	17	45	41
	定点当たり	0.61	0.28	0.04	0.17	2.24	0.24	0.14	0.17	0.18
伝染性紅斑	報告数	77	59	-	3	-	11	2	22	21
	定点当たり	0.02	0.06	-	0.06	-	0.07	0.02	0.09	0.09
突発性発しん	報告数	672	186	11	8	20	34	24	58	31
	定点当たり	0.22	0.20	0.15	0.17	0.40	0.22	0.20	0.22	0.14
ヘルパンギーナ	報告数	238	36	1	1	16	2	2	6	8
	定点当たり	0.08	0.04	0.01	0.02	0.32	0.01	0.02	0.02	0.04
流行性耳下腺炎	報告数	117	52	2	-	1	10	6	19	14
	定点当たり	0.04	0.06	0.03	-	0.02	0.06	0.05	0.07	0.06
急性出血性結膜炎	報告数	8	7	-	-	-	1	2	2	2
	定点当たり	0.01	0.04	-	-	-	0.02	0.06	0.05	0.05
流行性角結膜炎	報告数	298	162	34	6	6	21	15	18	62
	定点当たり	0.44	0.82	2.00	0.50	0.43	0.51	0.47	0.46	1.48
細菌性髄膜炎 #2	報告数	8	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	7	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.08	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	67	7	2	-	2	-	1	2	-
	定点当たり	0.14	0.08	0.15	-	0.22	-	0.11	0.08	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	6	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.08	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査
2024年

▶ 感染症の流行状況
2024年 第1週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第2週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第3週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第4週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第5週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第6週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第7週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第8週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第9週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第10週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第11週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第12週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第13週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第14週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第15週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第16週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第17週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第18週

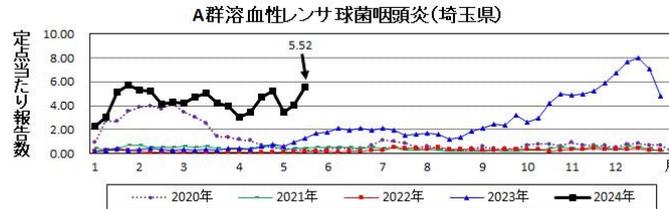
▶ 感染症の流行状況
2024年 第19週

感染症の流行状況 2024年 第20週

2024年第20週（5月13日～5月19日）の要点

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎](#)の定点当たり報告数は、前週より増加し、2023年の秋以降、高い水準で増減を繰り返しています。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↑	★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	→	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	↑	★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	↓	★	流行性角結膜炎	↑	★★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン